



令和5年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

令和4年8月8日

上場会社名 細谷火工株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4274 URL <http://www.hosoya-pyro.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 細谷 穰志
 問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部長 (氏名) 秋葉 真奈美 TEL 042-558-5111
 四半期報告書提出予定日 令和4年8月9日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 令和5年3月期第1四半期の業績（令和4年4月1日～令和4年6月30日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
5年3月期第1四半期	281	△13.7	15	146.7	18	102.5	13	96.9
4年3月期第1四半期	326	43.2	6	△25.8	9	△9.0	6	△7.0

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
5年3月期第1四半期	3.38	—
4年3月期第1四半期	1.71	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
5年3月期第1四半期	4,056	2,763	68.1
4年3月期	4,219	2,793	66.2

(参考) 自己資本 5年3月期第1四半期 2,763百万円 4年3月期 2,793百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
4年3月期	—	—	—	8.00	8.00
5年3月期	—	—	—	—	—
5年3月期（予想）	—	—	—	7.00	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 令和5年3月期の業績予想（令和4年4月1日～令和5年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,590	△11.4	162	△10.6	164	△12.0	115	△9.2	28.73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

5年3月期1Q	4,032,000株	4年3月期	4,032,000株
5年3月期1Q	29,466株	4年3月期	29,466株
5年3月期1Q	4,002,534株	4年3月期1Q	4,002,534株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に伴う行動制限が緩和され、経済活動は正常化に向かいました。しかしその一方で、急激な円安による為替相場の変動やウクライナ情勢をめぐる地政学的リスクの高まりで、エネルギーや原材料価格が上昇するなど、国内経済の先行きは不透明な状況が続きました。当社が属する製造業においても、原材料の価格高騰や調達難は深刻な影響を及ぼしました。

このような環境のもと、当社は原材料の入手難に対し先行的に対策を講じ、適正な在庫管理に努めたことで、計画的な生産活動を継続することができました。また、今期より製品の特徴に合わせて製造部内の組織を変更し、製品の品質向上と作業の効率化を図りました。賃貸事業においては、既存施設の整備や契約内容の見直しを進め、収益基盤の強化に取り組みしました。

この結果、売上高は前年同期と比較して減少いたしました。損益面では大幅な増益となりました。

当第1四半期累計期間の売上高は281百万円（前年同期比13.7%減）、営業利益15百万円（同146.7%増）、経常利益18百万円（同102.5%増）、四半期純利益13百万円（同96.9%増）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

① 火工品事業

火工品事業では、民間向け製品の市場回復に伴い受注が増加したものの、主力の防衛省向け製品の大幅な受注減により、前期と比べ売上高は減少いたしました。損益面では、生産現場での効率化及び省力化により収益性は向上いたしました。固定費の上昇分を補えず、利益を確保するには至りませんでした。

売上高は237百万円（前年同期比16.1%減）、セグメント損失は2百万円（前年同四半期はセグメント損失11百万円）となりました。

② 賃貸事業

賃貸事業では、火薬庫の新規契約や施設の改修に伴う賃料改定などにより、売上高は43百万円（前年同期比2.6%増）、セグメント利益は31百万円（同1.5%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末における総資産は4,056百万円（前事業年度末比163百万円減）、負債合計1,293百万円（同133百万円減）、純資産合計2,763百万円（同29百万円減）となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

令和5年3月期の業績予想につきましては、前回発表（令和4年5月12日「令和4年3月期決算短信[日本基準]（非連結）」）の業績予想から変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (令和4年3月31日)	当第1四半期会計期間 (令和4年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,191,323	1,043,419
受取手形及び売掛金	286,427	176,464
電子記録債権	9,051	16,904
商品及び製品	36,381	32,412
仕掛品	217,685	304,388
原材料及び貯蔵品	287,874	296,281
その他	8,993	29,245
流動資産合計	2,037,737	1,899,116
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	282,081	291,843
土地	1,321,680	1,321,680
その他(純額)	150,091	134,448
有形固定資産合計	1,753,853	1,747,972
無形固定資産	33,277	30,624
投資その他の資産		
投資有価証券	391,024	374,645
その他	4,045	4,045
投資その他の資産合計	395,069	378,690
固定資産合計	2,182,200	2,157,287
資産合計	4,219,937	4,056,403
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	107,092	75,653
短期借入金	511,004	511,004
未払法人税等	46,901	14,987
賞与引当金	47,426	72,095
その他	192,058	112,382
流動負債合計	904,482	786,122
固定負債		
長期借入金	247,557	244,806
リース債務	21,282	17,949
退職給付引当金	56,227	59,422
役員退職慰労引当金	85,023	87,134
製品保証引当金	2,339	2,273
資産除去債務	9,434	9,434
その他	100,473	86,117
固定負債合計	522,336	507,137
負債合計	1,426,819	1,293,259

(単位：千円)

	前事業年度 (令和4年3月31日)	当第1四半期会計期間 (令和4年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	201,600	201,600
資本剰余金	18,121	18,121
利益剰余金	2,355,095	2,336,589
自己株式	△14,690	△14,690
株主資本合計	2,560,126	2,541,621
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	232,991	221,522
評価・換算差額等合計	232,991	221,522
純資産合計	2,793,118	2,763,143
負債純資産合計	4,219,937	4,056,403

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 令和3年4月1日 至 令和3年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 令和4年4月1日 至 令和4年6月30日)
売上高	326,295	281,561
売上原価	240,526	194,005
売上総利益	85,769	87,555
販売費及び一般管理費	79,406	71,857
営業利益	6,362	15,697
営業外収益		
受取配当金	2,730	2,974
雑収入	792	387
営業外収益合計	3,523	3,362
営業外費用		
支払利息	878	824
雑損失	0	0
営業外費用合計	878	824
経常利益	9,007	18,235
特別損失		
固定資産除却損	0	—
特別損失合計	0	—
税引前四半期純利益	9,007	18,235
法人税、住民税及び事業税	10,774	13,740
法人税等調整額	△8,631	△9,019
法人税等合計	2,143	4,721
四半期純利益	6,863	13,514

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。